

会 議 事 録

				記録者	教育総務課長補佐 関ヶ原		
供 覧	教育長	部長	課長	補佐	主査・係長	G員	
件 名	令和3年度第1回龍ヶ崎市総合教育会議						
日 時	令和3年5月26日（水） 午後2時から午後3時まで						
場 所	市役所5階全員協議会室						
主 催	中山一生市長						
出席者	<p>中山市長，平塚教育長，斎藤教育長職務代理者，高橋委員，岡澤委員，野中委員</p> <p>松尾市長公室長，木村教育部長，岡野企画課長，中村教育総務課長，国松文化・生涯学習課長，本橋指導課長，松谷教育センター所長，岩井学校給食センター所長，名島教育総務課長補佐，関ヶ原教育総務課長補佐，石山教育総務課副主幹</p>						
欠席者	なし						
傍 聴	なし						
議 題	<p>1 開 会</p> <p>2 市長挨拶</p> <p>3 議 題</p> <p>（1）次期龍ヶ崎市教育プラン策定基本方針について</p> <p>（2）施設一体型小中一貫校整備の検討について</p> <p>4 閉 会</p>						
情報公開	<input type="checkbox"/> 公 開	非公開（一部公開を含む）とする理由			(龍ヶ崎市情報公開条例9条 号該当)		
	部分公開						
	非 公 開	公開が可能となる時期 (可能な範囲で記入)			年	月	日

<p>企画課長</p>	<p>それでは定刻となりましたので、ただ今より、令和3年度第1回龍ヶ崎市総合教育会議を開会いたします。 開会に当たりまして、中山市長が御挨拶を申し上げます。</p>
<p>中山市長</p>	<p>改めまして、皆さんこんにちは。 教育委員会の委員の皆様におかれましては、何かと御多用のところ、また、この後、定例会を控える中で龍ヶ崎市総合教育会議に御出席を賜りましたことに心から感謝申し上げます。 また、龍ヶ崎市の教育の発展のため、皆様には日頃から御尽力を賜っておりますことについても、改めて感謝を申し上げます。 最初に、市政におきまして、大変皆さんに御心配をお掛けしていることがございますので、これについてお詫びを申し上げさせていただきたいと思っております。 皆様、報道等でも御承知のとおりかと思いますが、本市の副市長及び2名の管理職が官製談合防止法違反により起訴されるなど、市民の皆様をはじめ、多くの方々の信頼を大きく損ねてしまいましたことにつきまして、改めて深くお詫びを申し上げます。 現在、市では第三者委員会を立ち上げ、原因究明と再発防止策の検討を行うなど、信頼回復に向けた取組を進めているところでもありますので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。 また、再発防止に関しましては、皆様にも御意見、御協力をいただきますようお願い申し上げます。 さて、この総合教育会議ですが、昨年6月末に開催して以来、およそ1年ぶりの開催となります。 この間、教育現場においては、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する中、新しい生活様式の導入、加速化するGIGAスクール構想の推進、学校行事の見直しなど、日々刻々と変化する状況に対応すべく、大変苦慮されて来られたことかと思っております。 この国難とも言われる状況においても、未来ある子どもたちの健やかな学びを保障し、生きる力を育んでいくということが我々の責務であります。 市といたしましても、教育委員会と連携を図りながら、感染症対策はもちろんのこと、充実した教育活動が展開できるよう、最優先の課題として、教育に対する支援を今後も継続してまいりたいと考えております。 本日の会議ですが、次期教育プランの策定と施設一体型小中一貫校の整備をテーマとして取り上げさせていただきました。 教育プランは、学校教育から生涯学習、文化・芸術、スポーツなど、子どもから大人まで幅広い教育活動を網羅する本市教育分野のマスタープランという位置付けになっております。 現行の教育プランの基本理念「ふるさと龍ヶ崎の現在を担い、未来を拓く人づくり」に示すとおり、まちづくりを進めていく上では、その根底となる人づくりが最も重要であると考えています。 そのような意味でも、教育委員会の皆様としっかりと議論をさせていただきながら、次期教育プランの策定に反映させていかなければならないと考えておりますので、よろしくようお願い申し上げます。 また、施設一体型小中一貫校の整備に関しては、昨年の総合教育会議でも取り上げさせていただいたところです。 昨年、皆様に御協議いただきながら取りまとめた調査報告書に基づいて、今後は具体的な事業化に向けた取組を進めてまいりたいと考えておりますので、</p>

<p>企画課長</p>	<p>引き続き御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。 最後になりますが、本日は皆様の忌憚のない御意見・御提案を賜りますとともに、この総合教育会議における議論が龍ヶ崎市の教育の更なる発展につながることを心から期待して、私の挨拶とさせていただきます。 よろしくをお願いいたします。</p>
<p>中山市長</p>	<p>それでは、早速議事に移ってまいりたいと思います。 議事の進行につきましては、総合教育会議の主催者である中山市長にお願いしたいと思います。 中山市長、よろしくお願いいたします。</p>
<p>教育総務課</p>	<p>(資料に基づき説明)</p>
<p>中山市長</p>	<p>ただ今、事務局から説明がございましたが、この件について、委員の皆様から御意見・御提案を頂ければと思います。 いかがでしょうか。御質問等でも結構です。</p>
<p>平塚教育長</p>	<p>ちょうど私が教育長になって1年目にこの会議でこのプランを作っていて、次の年から5年間が始まったわけなんですけど、改めましてこれを振り返ってみますと、もう5年経ったら、使われてる文言が随分違うなと感じました。 5年前には、SDGsはそんなに大きく取り上げていないし、LGBTという言葉もあったんですが、それほど大きな社会的な広がりというのは、まだなかったように感じます。 それから、教職員の働き方改革、GIGAスクールとか、そして、昨年度のコロナによって、新しい生活様式ということで、この5年間というスパンというのは本当に長いのか、その間に途中で修正をかけないと、教育大綱・基本計画としての位置付けとしては、かすんでしまうような気がしますので、途中で修正をやるということも踏まえながら、慎重にやっていく必要があるのかなと思います。 そうこうしているうちに、少人数学級の制度がどんどん入ってくるということで、非常に激動の時代に入っております。 変わらないのは先生方の多忙感だけが変わらなくて、そこを何とかしなくちゃいけないという大きな問題があります。 ですから、もう少し分かりやすく、それから評価しやすいような、そういったプランに変えていく必要があるのかなと思います。 私自身も反省したのは、前は成果指標だとか、数値目標にこだわってしまっただけの傾向がございます。 無理やり参加人数が何人だとか、何かそういう問題でもなさそうなのかなと思います。 そういう評価は、部分的にあってもいいのですが、それを目標にすると、何</p>

	<p>かちょっと違う方向になってしまうのかなと思います。</p> <p>では、どういった評価がいいのかというと、そこが今度の教育プランにおいて、この時代に合った評価のあり方を検討する必要があるのかなということも感じるところでございます。</p>
中山市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、平塚教育長からあったお話も含めて、何か御意見、御質問等ございますでしょうか。</p>
高橋委員	<p>今、平塚教育長から御意見があったとおりでと思ひまして、私もここ数年すごいスピードで社会が変わっていて、特にこのコロナ禍において、GIGAスクールも前倒しになっていて加速しているということを考えると、少しスピードアップしてもいいんじゃないかなと思います。</p> <p>もちろん、皆さんの仕事も大変だと思うんですけども。</p> <p>また、中間年度に見直しで大丈夫なのかなというのを感じました。</p> <p>では、何年ならいいのかというところまで具体的な提案はできないんですけども。</p> <p>または、中間年度で見直しなんだけれども、途中の時点でどこかの節目でPDCAサイクルじゃないですけども、ここまでどうなのという所を必ずを見て、修正ができるとか。</p> <p>そういうふうに行って、できるだけ社会の変化又は教育行政がどう変化しているかというのをちゃんと受け入れられるようなプランがいいんじゃないかなと思ひました。</p>
中山市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今のお話もありましたが、皆さんからはいかがでしょうか。</p> <p>今の御意見について事務局から何かありますか。</p> <p>見直しのやり方なども含めて。</p>
教育総務課長	<p>高橋委員から頂いた御意見の件でございますけれども、基本的には中間年度で見直しをして、そこで修正が必要であれば修正をしていきたいというふうに考えているんですけども、一年一年見直せる部分については見直しをしていきたいというふうには考えております。</p>
中山市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>適宜こういう場も設けながら御意見を頂けると思ひますよね。</p> <p>それをどう反映していくかというのは、その時その時で必要に応じてできることではあると思ひますけれども。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p> <p>ここにも次期最上位計画との整合性というのもあるので、前期4年・後期4年ということで中間年度は4年になるということですよ。</p> <p>この4年が長いか短いかという話にもなると思ひますけれども。</p> <p>これは今、マニフェスト選挙などということも言われていますので、選挙で市民の負託を受けた方が自分の意見をこの計画等に反映しやすい形にしたという経緯もあります。</p> <p>実際、選挙というのは市民の意見を吸い上げるプロセスの一つだと思いますので、そういう配慮もありますが、総合計画いわゆる最上位計画の方は、5年スパンで今までやっていたんですけども、ちょっと5年だと短過ぎるのかな</p>

	<p>と感じます。かと言って10年では長過ぎる。</p> <p>そうであれば、4年の中間年度で見直しを入れて8年という形にしたらどうだというのが今、進めようとしている計画でもあります。</p> <p>それもそもそもどういう形で進めていくかというのも、この5年間が大変激しい動きだったというお話がありましたけれども、この後の5年間もこのコロナの推移もあるので、また激しい5年間になるのかなと思います。</p> <p>そういう意味では延長して、新たな教育プランがスタートしてから、その推移はしっかりと見極めながら進めなければいけないのではないかなと思います。</p> <p>斎藤委員，何かございますか。</p>
<p>斎藤委員</p>	<p>今、お話を聞いてやはり非常に難しい時代に入ったと感じます。</p> <p>我々、もちろん子どもたち，保護者も含めてですね，先が読めない。</p> <p>そのために，教育をどうしていかなければならないか，そこも読み取れない。</p> <p>そういう面で，こういう計画を基に引っ張っていくわけけれども，それがすぐ変わってしまうというか，変わらざるを得ないというのが今の時代なんだなというふうに思います。</p> <p>そういう面ではコロナが落ち着けば，それに基づいた安定した教育がまた戻ってくるのかなという思いがするんですね。</p> <p>どう評価していくかということは，これからも十分に考えて修正を図っていくということも大事なんじゃないかなと思います。</p> <p>先ほどのスパンをある程度見極めて，途中で評価していくという気持ちが必要なのではないかなという思いもします。</p>
<p>中山市長</p>	<p>ありがとうございます。野中委員，お願いします。</p>
<p>野中委員</p>	<p>私は，今まだ高校1年生，大学1年生と4年生の子どもがいるんですけども，僕たちの時代とはまるっきり違っていて，今，テレビを子どもたちが見ない時代に入ってきていて，携帯でずっとYouTubeなんかを見て，何でも情報がそこから入ってしまったりとか，好きなものしか見ないので偏った情報を取ってしまったったりとか。</p> <p>会話もだんだん大きくなるに連れて少なくなってくるんですね。</p> <p>親の立場としても学校と協力していかないと，自分たちの子どもが何をやっているかが見えなくなっている時代にもなりつつあるので。</p> <p>今言われていました4年・8年，その期間というものは，子どもたちの成長も非常に早いので，その時代時代に沿った形のものがスタートするときには良い形のプランだと思いますけれども。</p> <p>1年1年1年1年という中でその見直しというのは，4年に1度でもその間にでもというところは検討していただくとしまして。</p> <p>これから先また更に子どもたちが減るという状況で，いくら学校を統合していってもそれに追いつかないぐらい子どもが減っていくみたいな勢いもあるので，そういうことも含めまして，この龍ヶ崎として一番ベストな方法で，親の立場としてもしっかりと子どもたちと向き合わなければいけないですけども，教育の専門の皆様におかれましてはよろしくお願いいたします。</p>
<p>中山市長</p>	<p>岡澤委員，お願いします。</p>

<p>岡澤委員</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>もう子どもたちも大学1年と3年になってしまったので、義務教育というものになかなか触れ合えていないんですけれども、娘の大学でも今、SDGsの勉強を授業でやっているというの聞いて、随分ジャンルが変わってきたなと思ったのと、新型コロナから見れば、子どもたちの行事の実施が去年は丸々1年違うような内容でやりました。</p> <p>今年もいろいろ変えていきますとなったときに、例えばコロナが収束して、コロナ前の基本でまた年間行事が決まってくるのかという、その辺もちょっとずつ変わっていくしかないのかなというのがある。</p> <p>そこは、学校と教育委員会の方で考えていかなければいけないことなのかなと思いました。</p> <p>子どもたちが小学校、中学校で素敵な思い出ができるような体制を考えていければなと思いました。</p>
<p>中山市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、いろいろ御意見がありました。これらについて事務局の方から何かありますか。</p> <p>補足するようなことがありましたら、お願いします。</p>
<p>平塚教育長</p>	<p>教育プランの進むべき落とし所というのは、いつの時代でも変わらないような普遍的な目標をプランとして置くのと、その時代その時代の状況に対応した目標を置くのと、2種類があるのかなと思いますね。</p> <p>例えば、コロナ禍であろうが、バブルであろうが、戦時下であろうが、龍ヶ崎の教育はこうやってやるんだというプランを置くというやり方もあるし、そうなるのかなかなか抽象的な文言でその下の具体的な目標の設定が非常に大事だと思うんですが。</p> <p>それは年ごとに変えても構わないし、もう少し単年度や2年サイクルで細かく、その時代時代に合ったものをどんどん取り入れる。</p> <p>そうするとこの5年・8年のスパンの中の取扱いというの、今後、慎重に検討していただければ、目標の立て方も変わってくるのかなというふうに感じるところです。</p>
<p>中山市長</p>	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p> <p>先ほど、子どもがテレビを見ないという話がありましたけれども、うちの子ども「テレビが嫌い。」とはっきり言います。</p> <p>我々、テレビっ子世代からすると、見てもいないのにテレビをつけっ放しにして仕事をしたりというのは常態化しているんだけれども、そんなことをしているとすぐ消されてしまいますので、信じられない思いがございます。</p> <p>そんな中で、子どもたちの教育にとってGIGAスクールは、大きな転機になるのではないかなと思います。</p> <p>去年からということもありますけれども、実質上今年がGIGAスクール元年、恐らく来年はある程度検証ができる状態で延長した中で、この大綱・プランの策定ということになると思いますので、それまでにできればコロナが収まってくれるのが理想なんですけれども、どんな形で進行できるかというのは今、教育長さんからもお話がありました。あまりスパンにとらわれ過ぎることもいけないことなのかもしれませんので、この総合教育会議の中でも皆さんから御意見を頂きながら、そのたびごとにしっかりと方向性を定めていければいいのかなと思いました。</p>

<p>齋藤委員</p>	<p>お時間の方もありますので、他に何かあれば。</p> <p>先ほど教育長からもあった中身的に二つの見方があるだろうという、教育ということからすれば、周りがどう変わろうと普遍的なものがあるんじゃないかと思えます。</p> <p>それを必ずベースに置いておかなければならないであろうと思えます。</p> <p>学力一辺倒ではないけれども、いわゆる知・徳・体という中でそれを大事にしながら、時代に応じてどのようにプラスしていくのか。</p> <p>具体策に入っていくんでしょうけれども。</p> <p>その二面性を十分に考えて、具体的なものは評価がしやすいだろうし、あとは普遍的なものをいかに長期的に見ていくかということは大変なんだろうという思いはしました。</p>
<p>中山市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>不易流行ということもありますので、確かに私もその辺がしっかりと龍ヶ崎の教育はこれだみたいなことが言えるときとすごく分かりやすく、みんなに理解していただけるんじゃないかなと思えます。</p> <p>他にありますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>お時間の方もあるので、次に移らせていただきたいと思えます。</p> <p>議題2「施設一体型小中一貫校整備の検討について」です。</p> <p>事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>教育総務課</p>	<p>(資料に基づき説明)</p>
<p>中山市長</p>	<p>ただ今、事務局からの説明がございましたが、この件について皆様からの御意見、御提案、御質問等があれば、この場でお願いしたいと思います。</p> <p>いかがでしょうか。平塚教育長、お願いします。</p>
<p>平塚教育長</p>	<p>北竜台地区いわゆる北部地域の方がかなり顕著な状況になっているというようなことで、参考までに今年は、長山中学校に新採の先生を配属しました。技術の先生がいないので。</p> <p>そうしたら、1週間で30コマくらいある中で、その先生の持ち時間が6コマしかないんですね。</p> <p>同じように愛宕中学校も美術の先生が8時間、音楽の先生も8時間、家庭科・技術については、正規の職員じゃなくて非常勤の先生を雇っています。</p> <p>城南中の美術が8時間、音楽の先生が6時間、技術が5時間。</p> <p>そうするとそういう先生は、学校内で30コマの授業がある中で、5・6時間しか授業がない。</p> <p>何をやるかという、特別支援学級の担当になる。専門外なんですけど、いわゆる時間数の関係で。</p> <p>こういう状況がどの学校にも続いてしまうと、特別支援教育を愚弄しているようなことになります。</p> <p>もう少しきちんと手隅の入った指導をしなくちゃいけないにもかかわらず、持ち時間の少ない先生が特別支援学級をやるということで、これは本末転倒かなと思えます。</p> <p>ですから、この辺につきましては、愛宕中と城南中が統合するとそのような問題は少なくなりますけど、本来、若い先生、新採の先生も自分の専門教科の技術を生かす、それなりの指導ができるようにするためには、週5時間ではな</p>

	<p>くて、週十何時間は授業をやっていたかなければならない。それと更に学級担任をやるとか。</p> <p>それが不可能な所は小中一貫校にすると、小学校の方の授業にも出ていけるというようなことです。</p> <p>ですから、中学校の先生の持ち時間の関係で、この先生がこの学校で長いことやるのが嫌になってしまうのではないか、それと成長もしないし。</p> <p>指導者も1人しかいない、誰かに教わるということもないということになりますと、先生方にとっても規模が小さくなるというのは問題なのかなと思います。</p> <p>そういった部分で小中一貫校の必要性が出てくるんですが、今、心配しているのは、こういった方向性を地域社会、保護者、住民の方にどのように理解・認識を深めていただくか、その説明の仕方が非常に大事なのかなと思います。</p> <p>私たちが毎日考えて、専門用語を並べ立ててもよく分からない。</p> <p>本当に施設一体型の一貫校が必要なのかという問いに対して、どのように分かるように答えることができるか、これが一つのポイントではないかなというふうに思います。</p>
<p>中山市長</p>	<p>今、御意見を頂きましたが、これも含めて皆さんから何かありますでしょうか。野中委員、お願いします。</p>
<p>野中委員</p>	<p>もう生徒の減少、児童の減少は止められない。</p> <p>これはもうどうにもならない事実ですし、特にニュータウンの松葉地区に関しては、出た行った者が戻って来ないというのも現実としてあるわけで。</p> <p>そうなってくれば、おのずと小さな学校ばかりが点在するわけにはいかなくなる。</p> <p>先生の問題もあるということで、これに関してはもう一体型にしていくしかないんだろうなと思います。</p> <p>できれば早いタイミングでやってあげないと、5年後の生徒は更に減っているというのがこの資料を見ると明らかなので。</p> <p>先ほどお話がありましたように、先生の授業の数が非常に少ないまま進むということも明らかなので。</p> <p>特にこのニュータウンの所と僕の出身の大宮小学校なども含めましてですね、この辺はもうやらざるを得ないところに来てるのかなと思います。</p> <p>そう言いながら、親たちも分かっていると思います。</p> <p>ただ、僕の出身の大宮地区でいうと、学校がなくなるというショックはあるかもしれないですけども、それはそういう時代に入ったことなので必ず納得してもらえらると思うので、進める方向に一気に舵を切ってもらってもよろしいのかなというふうに私は思います。</p>
<p>中山市長</p> <p>斎藤委員</p>	<p>他にございますでしょうか。斎藤先生いかがですか。</p> <p>前回お話ししたときに、目標年度で例えばニュータウンの方なら2030年という目標設定をされている。果たしてこれでいいのか。</p> <p>前にも、できれば少し前倒しをしていくことも可能なんじゃないかなと言いました。</p> <p>ただ、そのためには、先ほど言った保護者とか住民にどう理解していただくかということになると思います。</p> <p>それは、今回の愛宕中と城南中が合わせてできる学校が龍ヶ崎で最初に良い</p>

形で出されていくということは、今までの廃校のイメージとちょっと違いますので、そういう面では良い刺激になるんじゃないかと思います。

これを大事にして、新しい学校を良い形で早め早めに作っていくことを住民・保護者に情報として多く伝えていくことがまず大事じゃないかと思います。

その上で理解がきっと深まっていくんじゃないかと思います。

ひいては子どもたちのためにもそれが一番だということだし、また、先生方の指導のためにもその方が効率的だということになるわけですから、その辺りをうまくやっていっていただいたら、ありがたいかなと思います。

先行き非常に心配ですね、これだけ子どもたちが減っていくということに対して。

そこは大胆に、いろいろな問題を含んでいるんでしょうけれども、早めに考えていってあげた方がベストなんじゃないかなと思います。

市長さんも子育て日本一というスローガンを掲げているかと思います。

私もスローガンは大好きなんですが、そういうスローガ的なものを大事にしながら、保護者・住民に訴えていってはどうかという思いはしました。

中山市長

ありがとうございます。今の話も含めて何かありますか。

斎藤先生がおっしゃった愛宕中・城南中のお話もありますけれども、城南中学校の跡地利用というのは、龍ヶ崎市では今まで北文間・長戸の統合がありましたけれども、開発調整区域でなかなか跡地利用が決まらなかったという状況と違って、市街化区域にある学校ですので、跡地利用についても今後の一つの方向性を示してもらえないかなというふうに期待しているところであります。

そういう意味で今の議題にある北部地域についても、市街化区域の小学校が二つ跡地利用ができるということは、例えば、居住区域として定住促進につながるのか、まちづくりの視点も含めて、新しい学校の魅力づくりにもつなげていけることができるんじゃないかなというふうにも考えられますので、そういう意味では、今日ここに総合教育会議として教育委員会だけではなく市長部局も参加しながら、まちづくりの視点も含めて学校づくりもしていくと魅力がまた増していくのではないかと思います。

あとは、龍ヶ崎市としては施設一体型の第1号の学校ということですので、そのメリットを最大限に生かした学校、これは他のエリアからすると痛しかゆしなんですけれども、みんながここに引っ越したくなるような学校を作っていくことが、この子どもが減っていく流れも抑制していくことにもつながるのかなと思いますので、それができると、それがモデルケースで次の施設一体型につながっていくんじゃないかなということも方向性を持って進めていくと、市民の皆さん、子どもを持つ親御さんも納得していただけるような展開になっていくんじゃないかなと私は思っております。

すみません。勝手なことを申し上げまして。

皆さんから他に何かございますでしょうか。

高橋委員、お願いします。

高橋委員

はい、ありがとうございます。

今出ている意見、本当にそのとおりだと思います。

この検討は、誰のために行っているかというところをきちんと説明する。

そして、例えば、それは教員サイドが効率的にするためでしょうみたいな意見があったとしても、先生方が働きやすくなれば、それは子どもたちに返って

	<p>くるんですよということを丁寧に説明する。 子どもにとってこんなに手厚くしているんですよというのを龍ヶ崎市の売りにするというのに賛成です。</p>
中山市長	<p>ありがとうございます。岡澤委員、いかがでしょうか。</p>
岡澤委員	<p>はい、ありがとうございます。 皆さんがとてもいいことを言ってくださったんですけれども、うちの下の娘が長戸で最後のときは、全校生徒が 38 名という驚異的な人数でとても良い環境ではあったんですけれども、やっぱりちょっと物足りないというのは多少ありましたので、メインは子どもで、子どもがどのように学んで、今後、市のためにどのような活躍ができるかというのを考えていただいて、この計画を進めていければなと思います。</p>
中山市長	<p>ありがとうございます。教育長どうぞ。</p>
平塚教育長	<p>企画課の人たちも来ているので聞いておきたいのですが、例えば、長山中学校に施設一体型を作ると松葉小と長山小が空きますよね。 そうするとその利活用はどうしたらいいかというものは、長山中学校を統合した後にやるのでは何か随分先送りになってしまうと思います。 長山中学校に施設一体型の学校を作るのには、テニスコートを潰すしかありません。 そうすると、子どもたちがテニスをやる場所がなくなってしまう。 近くにテニスコートがないわけではないですが。 それから、市民の活動の場所として使うのか、商業施設に使うのか、こういったスケジュール感について、企画課の職員の方にお尋ねしたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
企画課長	<p>北竜台地区の統合に伴う跡地利用という件なんですけれども、先ほど市長からお話がありましたように、まちづくりの視点というのは大事に考えていきたいということで考えています。 まずは、北竜台地区は高齢者が多いとか人口が減っているとか、いろいろな課題がありますので、そういった課題の解決につながるような利用方策でありますとか、地域の活性化につながるような方策とか、そういったことを北竜台地区の将来のまちづくりの考え方とか、その辺との整合を十分に考えながら、今年度から検討していきたいなというふうに考えております。 実際には、公共施設として今後利用の可能性はあるのかなのか、民間企業さんで何か活用のアイデアがあるのかなのかとか、あとは地域の皆さんの御意見も聞きながら、今年度から利活用方策の検討というのを進めていきたいなというふうに思っております。</p>
中山市長	<p>教育長、どうぞ。</p>
平塚教育長	<p>ありがとうございました。 教育委員会は、三つの学校を一つにしたいという訴えの他に、そのことによって北竜台ニュータウンのまちがこんなふうになる可能性があるきっかけになるんですよ。 ですから、地域の方も学校を一緒にするだけではなく、まちづくりについて</p>

	<p>一緒になって考えてみてはどうでしょうかと言うと、すごく説得力があるんじゃないかなと思いますので、今後検討していただければと思います。</p>
<p>中山市長</p>	<p>ありがとうございます。今の件についてはいかがですか。 松尾公室長、お願いします。</p>
<p>市長公室長</p>	<p>教育長がおっしゃるとおりだと思います。 まちの方々は、学校ということだけではなくて、その地域全体のことを考えて学校はどうあるべきかと考えると思います。 これまで象徴的な存在だった学校が無くなって統合される。 そして、教育環境が良くなるということについては異論がないと思うんですが、それでは今まで学校が果たしてきたものが今後地域にとってどのようなプラスアルファをもたらしてくれるんだろうということについて、非常に興味があると思います。 そして、地域の経営ということ考えた場合でも、少子高齢化ということだけをただ我慢しているということでは、地域の将来の発展ということがありませんので、学校の統合を機に再度地域をどうやって作っていかうかということをお皆さんで考えていただいて、より良いものにしていければなと思っております。 そういうことですので、統合が決まったら検討するというのではなくて、一緒に検討させていただいて、同じようなスピード感で取り組んでいければと思っております。</p>
<p>中山市長</p>	<p>ありがとうございます。 斎藤先生の先ほどのお話もありましたが、できる限りのスピード感というものも必要なのかなと私も思いますが、大切なプロセスもありますので、そういう話の中身についても今の公室長からあったお話、教育長さんからあったお話も含めて、この総合教育会議でまた議論を深めていける内容だと思いますので、この総合教育会議の中で是非また御意見を頂きながら、方向性をしっかりと定めていくことが大事なのかなと思いますので、よろしく願いいたします。 許された時間がもう過ぎようとしておりますので、何か皆さんからあれば、御意見を頂ければと思いますが、よろしいでしょうか。 時間が少しオーバーしてしまいましたけれども、本日の議事を以上とさせていただきます。 貴重な御意見をたくさん頂きましたことに心から感謝を申し上げます。 本日の協議を踏まえて、それぞれの取組を進め、この総合教育会議でまた議論を深めていければと思いますので、よろしくお願い申し上げます。 皆様の会議進行への御協力に感謝を申し上げまして、私の会議進行の役目を解かせていただきます。 ありがとうございました。</p>
<p>企画課長</p>	<p>皆様、本日は大変お疲れさまでした。 以上をもちまして、本日の会議を閉会させていただきます。 御協力ありがとうございました。</p>